

聖マリア病院を過去に受診された、または現在受診中の皆様へ

聖マリア病院では、皆様の診療情報等を利用し、下記の研究を実施しております。

研究内容につきましては、社会医療法人雪の聖母会 研究倫理審査委員会にて承認されたものです。本研究の対象者に該当される可能性のある方で、研究について詳細にお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先まで、ご連絡をお願いいたします。

研究課題名	術後急性腎障害の要因と血漿遊離ヘモグロビン値との関連性		
実施予定期間	承認後～2019年12月31日		
対象患者	待機的成人開心術症例（大血管症例、透析患者、慢性腎臓病（CKD）症例は除く）の患者さんで、人工心肺（CPB）施行時間が180分以上かつハプトグロビン製剤（日本血液製剤機構）を使用した例。		
対象期間	2013年1月1日～2019年2月28日		
研究機関の名称	社会医療法人雪の聖母会聖マリア病院		
対象診療科	心臓血管外科		
研究責任者	氏名	堤 善充	所属 臨床工学室
使用する資料等	下記情報を手術支援システム（ORSIS）より取得する。 ・患者情報：年齢、性別、体重、体表面積 ・術式 ・体外循環関連データ：体外循環時間、大動脈遮断時間 ・体外循環時およびICUの患者データ：BUN、Cr、eGFR、PF-Hb、輸血量、尿量、挿管時間、ICU滞在期間		
研究の概要	心臓外科手術後の急性腎障害（AKI）はICU滞在日数の延長また重篤な合併症の発生率漸増させることが報告されています。本研究では、当院で人工心肺時間が180分以上にて溶血尿を伴った症例にて、溶血を目視的に確認した後にハプトグロビンを投与した症例と血漿遊離ヘモグロビン（PF-Hb）を測定し0.06g/dL以上の場合に早期投与した症例での手術期におけるAKIの発症率の有意性を検討します。		
倫理審査	研究倫理審査委員会承認日	2019年 3月 19日	
研究計画書等の閲覧等	研究計画書及び研究の方法に関する資料を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手又は閲覧できます。詳細な方法に関しては下記の問い合わせ先にご連絡ください。		
結果の公表	学会や論文等で発表いたします		
個人情報の保護	個人情報を保護するために責任者を設定します。研究する際、個人の特定につながる情報は、当院で特有の番号に置き換えて（このことを「匿名化」と言います）管理します。学会等で発表する場合も、個人を特定できる情報は使用しません。		
知的財産権	聖マリア病院に属します		
研究の資金源	特にありません		
利益相反	研究結果に影響を与えるような利害関係はありません		
問い合わせ先・相談窓口	聖マリア病院 臨床工学室 堤 善充		
	電話	0942-35-3322	